

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AT340／文学講義 340 (Lectures on Literature 340)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日本語学4		
担当者名 (Instructor)	佐藤 久美子(SATO KUMIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	JAL2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

日本語諸方言における多様な言語現象とその分析方法を学び、言語学の基礎知識を習得する。

This course helps students acquire the basic knowledge of linguistics by studying linguistic phenomenon in Japanese dialects and their analysis methods.

授業の内容(Course Contents)

音声と文法に焦点を当て、様々な方言のデータを観察することで、日本語の多様性を理解する。また、標準語や世界の言語に照らし、言葉の仕組みを考察する。

This course will give you an understanding of language variations in Japanese with a main focus on sound and grammar by examining interesting examples in Japanese dialects. It will also compare several Japanese dialects with other languages in the world (including standard Japanese) and explore the general mechanism of language.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: 方言学の射程
2. 方言へのアプローチ(1): 社会における機能を探る
3. 方言へのアプローチ(2): ことばの仕組みを探る
4. 音声: 母音と子音の体系
5. 音声: アクセントの体系(1)
6. 音声: アクセントの体系(2)
7. 音声: 文末イントネーション、強調と卓立
8. 方言調査の方法(1): インタビュー調査
9. 語彙: 概念と語形の結びつき
10. 文法: 「助詞」のバリエーションと無助詞
11. 文法: アスペクト、可能
12. 言語行動: 挨拶、フィラー、待遇、昔語り
13. 方言調査の方法(2): 日本語諸方言コーパスを使った調査
14. 振り返り

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示は、必要に応じて別途指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%) / リアクションペーパー(40%)

2/3 以上の出席をしていない場合は、単位修得不可。出席は評価割合に含まれない。

テキスト(Textbooks)

1. 木部暢子・竹田晃子・田中ゆかり・日高水穂・三井はるみ編、2013、『方言学入門』、三省堂 (ISBN:978-4385363936)

参考文献(Readings)

1. 田中ゆかり、2011、『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで—』、岩波書店 (ISBN:978-4000248709)
2. 大西 拓一郎 編、2016、『新日本言語地図: 分布図で見渡す方言の世界』、朝倉書店 (ISBN:978-4254510515)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

リアクションペーパーについては、次回授業開始時にフィードバックを行う。

注意事項(Notice)

